2008−2009年度

第2570地区
行田さくらロータリークラブ週報

国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ
「行動と感動」
ガバナー　真下　和男

夢をかたちに

李　東健会長

会長方針
足元を堀り起こそう

会　　長　田　邉　弘　司
幹　　事　高根沢　宏　一
編　　集　橋　本　恭　一
　　松　岡　園　男
　　田　島　博　夫
事 務 局　埼玉県行田市行田5-10
　　十万石スリーハートビル3F
電　　話　048（564）3000番
例会日時　火曜日12:30〜13:30
例 会 場　アドバンテストクラブハウス
　　行田市大渕８−１
電　　話　048（555）2750番
URL http://www.tvg.ne.jp/s-rotary/
撮影：斉藤　恒会員（利根大堰）
印刷：マツオカ印刷株式会社

第 1665 回（1 月 20 日）例会報告

＊点　　鐘　　田邉　弘司会長
＊ロータリーソング　　我らの生業
＊４つのテスト
＊ビジター紹介　　行田 RC　諸貫　健一氏
＊会長報告　　田邉　弘司会長
＊幹事報告　　高根沢　宏一幹事
＊出席状況報告　　鈴木　敬一郎会員
＊ニコニコ報告　　五十幡　和彦会員
＊委員会報告
　雑誌・広報委員会　古田　稔委員長
＊　本日の卓話
　行田労働基準監督署長　　川口　元宏氏

会長報告

会長　　田邉　弘司

1 月 15 日(木)、（社）行田青年会議所の新年会に参加して参りました。本年度は、小池邦彦理事長の「改革の時代〜変革の能勉者たるひととして誓う〜」のスローガンの下､活動されるそうです｡一年間ご活躍を期待します。

当クラブの後半の事業である　図書寄贈、学習講演会も着々と準備を行っている所です。

幹事報告

幹事　高根沢　宏一

第 8 回理事会
2009 年 1 月 13 日　例会場にて開催されました。

第１号議案
２月プログラムの件
【承認】

第２号議案　　三谷 一郎会員退会の件　　【承認】

議　　題
①3 月プログラムの件
②その他

報 告 事 項
①Ｘ′ｍａｓ望年会決算報告
②1 月 8 日(木)
　行田商工会議所新春講演会及び賀詞交歓会
③1 月 10 日(土)
　青少年交換プログラム海外派遣生のウインターキャンプ
④1 月 15 日(木)
　行田青年会議所新年会【7 時より】
⑤1 月 29 日(木)
　第 4 回 会長・幹事会【アドバンテスト】
⑥1 月 31 日(土)
　職業奉仕研修会【幹事、倉持氏出席予定】

出席報告

鈴木　敬一郎会員

会員数	出席対象者	出席	メーキャップ	出席率
39 名	38 名	22 名	1 名	60.53%

ニコニコ報告

行田ロータリークラブ　諸貫健一様
　本日は例会、お世話になります。
田邉会長
　川口署長様、本日は卓話よろしくお願いいたします。
高根沢幹事
　行田労働基準監督署長、川口基宏様のご来訪歓迎いたします。
　本日の卓話よろしくお願いいたします。
清水会員
　川口署長様、本日はご来訪有難うございます。
　「大寒の　入りに来訪　卓話かな」
松岡会員
　「寒中の　卓話の来訪　クラブかな」
　川口所長さん有難うございます。
古田会員
　後半の６ヶ月、引き続き雑誌広報、宜しくお願い致します
矢澤会員
　先日孫のおひな様を買いに行ってきました。
　孫ってかわいいですネ。ジジバカでした。
橋本会員
　先週は民生委員の新年会があったので欠席してしまいました。
斉藤会員
　川口署長様、ご来訪ありがとうございます。
　卓話よろしく御願い致します。
同文
　戸ケ崎会員　横川会員　川辺会員　新井会員
　前澤会員　島崎会員　　倉持会員　半田会員
　鈴木会員　上原会員　五十幡会員

委 員 会 報 告

雑誌･広報委員会
古田　稔委員長

ロータリーの友より

1.P8～9
　人前で話す。
　特にロータリー会員諸兄は、人前で話す機会が多いと思いますので「ヒントになる」 記事ですので是非一読ください。

2. P　11
　正しいロータリー用語が出ておりますので、改めて確認してみて下さい。

年度後半を向えて　立春　会員皆様に取りまして今年も良い事が沢山あります様に･･････

ロータリーの友事務所より、入会３年未満の会員に「例会への提案、感想ありますか？」というテーマで原稿を依頼されました。鈴木敬一郎会員に原稿をお願いしました。
後日、ロータリーの友に掲載されると思いますので、またその時は、紹介したいと思います。

本　日　の　卓　話

行田労働基準監督署長　　川口元宏氏

本格メンタルヘルス時代の人事・労務問題

１、はじめに
企業の安全配慮義務の拡大、人材活用の必要性、企業の成長の視点から考えるべき問題

２、物の豊かさから心の豊かさへ
経済的危機状態にある今こそ、経済生活よりも心を重視した戦略をとるべき

３、こころを扱えない大人
実際には心を扱うことは、簡単なことではない。「こころ」の問題あるいは「感情問題」を扱うためには準備が必要

４、職場での「こころ」の問題
精神障害、過労死をめぐる社会問題の発生、業務上とされるケースが増えている。また、民事裁判で争われることもある。

５、メンタルヘルス対策は有効か？
精神障害、過労死をめぐる問題に対して、医学的アプローチだけでは､不十分｡メンタルヘルスは、組織の問題。経営上の問題である。

６、個人の健康と組織の健康
個人の健康は医学的な問題だが、組織の健康は経営的な問題。経営者が考えるべきは組織の健康である。ケチな飲み屋サイン

７、リーダーの役割とマネージャーの役割
リーダーは企業のトップとして、よりよい未来に向けて明確なビジョンを示さなければならない。これに対してマネージャーは、個々の従業員の特質を把握し､それを最大限生かすのが役割である。企業には、それぞれの役割の人が必要になる。

８、心の病気と成果主義
従業員にとって成果を求められることは大きなストレスだが、それに対する組織のサポートは必ず必要である。そこに組織の役割がある。

９、裁量労働・自己責任論について
管理職、裁量労働者などについては個人の裁量の余地は大きいが、過重労働が認められるわけではなく、企業はすべての従業員に配慮義務を果たさなければならない。

１０、競争社会か共生社会か？
これは個人の価値観の問題だが、どのような人間でも人間として生きる権利があり、能力や成果による格差があったとしても極端な結果の不平等は社会の不安定化をもたらすのではないか？

１１、おわりに
これからの企業は自律的な個人を支援し、その能力を活かすことが使命となるものと思われる。そして個人は、その企業の理念や目標を実現するために働く存在になるものと思われる。

略歴

現職　　行田労働基準監督署長
平成 20 年 4 月より勤務

1954 年（昭和 29 年）新潟市生まれ
1976 年（昭和 51 年）東洋大学法学部卒業
同年 4 月　　労働省（現　厚生労働省）入省
和歌山労働基準局
東京労働基準局
埼玉労働基準局
埼玉労働局　　などに勤務